

2019年産の水稲作付について

JAこまちの方針(平成 31 年産米)

- ◆戦略的品種の需要については**生産及び販売を拡大**していきます。
 (あきたこまち特栽・直播、特別栽培米など)
- ◆需要増加の見込まれる水田活用米穀に関しては**生産面積の拡大**に取り組みます。
 (加工用米・備蓄米・新規需要米等)
- 加工用米“あきたこまち”の需要増。需要・供給・価格のバランスを考慮しながら販売。
- めんこいな・ゆめおばこ 原料米として評価高く、需要大きい。
- 今後の予定(H31 産米の取組み)
- ◎12月末までにH31 年産米出荷申込み(予備予約)を行います。
- ◎数量取りまとめ後、JA販売先と協議を行う予定です。

TACからの提案

多収性品種全面作付タイプ(10a 当たりの収益、H30 概算金で試算)

品種名	単収	単価	販売金額	合計金額
めんこいな	10.5 俵	11,900 円一般米	124,950 円	124,950 円

多収性品種 + 加工米

ゆめおばこ	10 俵	9,000 円加工用米	90,000 円	121,900 円
	1 俵	11,900 円一般米	11,900 円	
	水田活用助成金	20,000 円	20,000 円	

あきたこまち	9.3 俵	12,800 円一般米	119,040 円	119,040 円
--------	-------	-------------	-----------	-----------

多収性品種作付のメリット

- ◎作付品種を集約することによって、作業効率向上、コスト低減につなげる。
- ◎大規模面積を単価重視の収益確保する経営よりも、労働力軽減、安定生産可能となる。
- ◎加工用米作付も経営に導入しながら、補助金制度を活用し安定収益を確保する。



※平成 31 年度用種籾・資材予約申し込みを忘れずにお願い致します。